

PCMCIA TYPE II Ethernet PC Card PCMCIA TYPE II 準拠 10MbpsイーサネットPCカード ■ LD-CDS 10BASE ①	必ずお読み ください
	取り付ける
	Windows 98 で使う
	Windows 98 ピア・ツー・ピア設定
	Windows NT 4.0 で使う
	必要に応じて お読みください

PCMCIA TYPE II 準拠
10Mbps イーサネットPCカード

LD-CDS
10BASE ①

User's Manual
ユーザーズマニュアル

ご注意

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートは行っておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

■ はじめに ■

この度は、弊社ラニード製品PCMCIA対応10Mbpsイーサネットカード"LD-CDS"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、"LD-CDS"をコンピュータ本体に導入するにあたって手順が説明されています。また、お客様が安全に"LD-CDS"を扱っていただくための注意事項が記載されています。コンピュータ本体への取り付け作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みにになり、安全に導入作業を行って製品を使用するようにしてください。このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告

 **小さな子供のいるそばで、取り付け取りはずしの作業を行わないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。**
けがや感電、部品を飲み込んだりする危険性があります。

 **本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。**

 **本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。**
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

 **本製品を取り付けたコンピュータ本体から煙やへんな臭いがしたときは、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。**
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。

 **本製品を取り付けたコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った場合は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。**
そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

注意



本製品の取り付け、取りはずしのときは慎重に作業を行ってください。
強引な着脱は、機器の故障や、けがの原因になります。



本製品の取り付け、取りはずしのときは、本製品に触れる前に金属性のもの(スチールデスク、ドアのノブなど)に手を触れて、静電気を除去してから作業を行ってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺



長期間、本製品を取り付けたコンピュータ本体を使用しないときは、電源プラグを抜いておいてください。また、バッテリーもはずしておいてください。

本製品は第一種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)に適合しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。このマニュアルの説明にしたがって正しくお取り扱いください。

●用語について

本製品…LD-CDSのことを、このマニュアルでは、「本製品」と記載しています。

●記号について

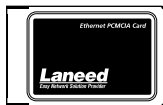
記 号	意 味
MEMO	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明します。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
注 意	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
 	キーボード上のカーソルキーを表わします。
	キーボード上のEnterキーを表わします。
	キーボード上のスペースバーを表わします。
 	その他、キーボード上のキーを表わします。

安全にお使いいただくために	2
このマニュアルの読みかた	4
もくじ	5
1. パッケージの内容を確認する	6
2. 製品の保証とユーザ登録	7
3. 本製品の特長と動作環境	8
4. 各部の名称とはたらき	9
5. 本製品を使用するにあたっての注意事項	10
6. コンピュータ本体への取り付けと取りはずし	12
取り付けの方法	12
取りはずしの方法	13
7. Windows 98でのセットアップ	16
8. Windows 98でのピア・ツー・ピア環境の設定例	22
9. Windows NT 4.0でのセットアップ	27
10. その他のOSのインストール	38
11. Windows NT 4.0のアダプタのプロパティ	39
付録1. こんなときは	40
付録2. サポートサービスについて	43
付録3. 基本仕様	46

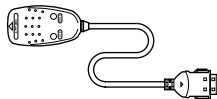
1 パッケージの内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店が弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

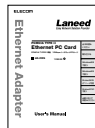
- イーサネットカード"LD-CDS" 1枚
PCMCIA Type II 準拠です。



- メディアカブラ 1個
イーサネットカードと10BASE-Tケーブルをつなぐためのカブラです。



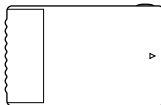
- ユーザーズマニュアル
このマニュアルです。
導入後も大切に保管してください。



- 保証書
このマニュアルと合わせて大切に保管してください。



- 保護ケース 1個
カードを使用しないときは、このケースに入れて保管してください。



- ドライバディスク 1枚



- ユーザ登録カード



2 製品の保証とユーザ登録

製品の保証とサービス

本製品は、保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

44ページ「修理の依頼」をお読みください。

●その他のご質問などに関して

43ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

ユーザ登録について

パッケージの内容の確認が終われば、作業を始める前に、ユーザ登録をおこなってください。お客様のユーザ登録は、インターネットからのオンライン登録または、付属ののがきによる登録が可能です。

●オンラインでの登録

弊社ラニード・ホームページから登録が可能です。

ホームページアドレス：<http://www.elecom-laneed.com>

●付属のユーザ登録カードでの登録

必要事項をご記入の上、ご投函ください。品番とシリアル・ナンバーは控えておいてください。裏面のアンケートにもお答えください。ご意見は、今後の製品開発などに役立っています。

3 本製品の特長と動作環境

本製品の特長と動作環境を説明します。

●プラグ&プレイで簡単設定

本製品はWindows 98のプラグ&プレイに対応しています。システムの本製品を認識すると自動的にセットアップが開始され、画面に表示されるメッセージに従ってドライバのインストールやネットワーク設定を行うだけで、すぐに使用できるようになります。IRQなどのむずかしいハードウェア設定を意識する必要はありません。

●PCMCIA Type II、活線挿抜に対応

本製品はPCMCIA規格Type IIに準拠しています。PCMCIA Type IIまたはType IIIに準拠したPCカードスロットで使用できます。また、Windows 98などでサポートされている「活線挿抜」に対応していますので、「活線挿抜」に対応した環境では、コンピュータの本体の電源を入れたまま、本製品の抜き差しが可能です。

●各種ネットワークOSに対応

Windows 98, Windows NT 4.0/3.51などのOSに加え、NetWare4.11J, NetWare4.10J, NetWare3.2JのNetWare各クライアント版やMs-LanManagerなどのネットワークOSにも対応します。また、NDISやODIといったネットワークドライバも付属します。

●本製品の動作環境

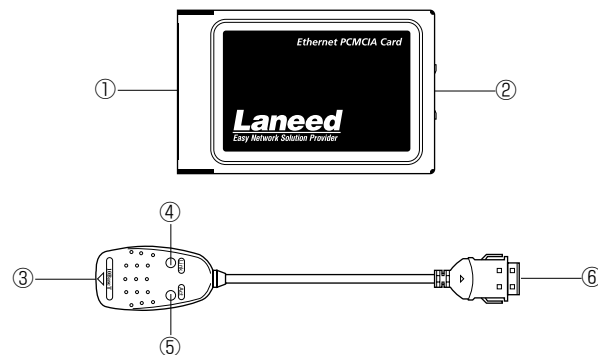
対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NX、NEC PC-9800シリーズでPCカードスロット(PCMCIA TYPE II)を持つ機種 ※ノートパソコンの最新の対応情報は、ラニード・ホームページまたはFAX情報サービスでご確認いただけます。
対応OS	Windows 98, Windows 95, Windows NT 4.0, Windows NT 3.51

※Windows 2000については対応予定です。(NEC PC-9800シリーズを除く)。インストール方法など詳細については、付属のドライバディスクのテキストファイルをご覧ください。ディスク内容については38ページをお読みください。

※Turbo Linuxについては、ラニードホームページをご参照ください。
(<http://www.elecom-laneed.com>)

2000年2月20日現在

4 各部の名称とはたらき



① 68ピンコネクタ	コンピュータのPCMCIA Type II 対応のPCカードスロットへ差し込むコネクタです。コネクタを指で触れないように注意してください。
② 15ピンコネクタ	メディアカブラの15ピンコネクタ側と接続します。コネクタを指で触れないように注意してください。
③ RJ45 モジュラージャック (10BASE-T)	10BASE-TのRJ45モジュラーケーブルのプラグを差し込みます。
④ Link (LEDインジケータ)	リンクが確立されときに緑色に点灯します。また、データを受信しているときにも緑色に点灯します。データは断続的に受信されますので、見かけ上は点滅しているように見えます。
⑤ Act (LEDインジケータ)	PCカードスロットに電源が供給されているとき緑色に点灯します。また、データを送信しているときにも緑色に点灯します。データは断続的に送信されますので、見かけ上は点滅しているように見えます。
⑥ 15ピンコネクタ	イーサネットカード側の15ピンコネクタに差し込みます。

本製品の導入にあたっての注意事項と、導入後に使用するにあたっての注意事項を説明します。必ずこの項目をお読みになり、本製品を正しくお使いください。

導入時の注意事項

●ドライバのインストールにフロッピーディスクドライブが必要です

本製品のドライバは付属のフロッピーディスクで供給されています。本製品のドライバをインストールするためにフロッピーディスクドライブが必要になります。

●Windowsオペレーションディスクが必要です

WindowsオペレーションシステムのCD-ROMまたはフロッピーディスクが必要です。(インストールモデルなどハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストール済みの場合は不要です)

●Windows 98でPCカードスロットがひとつしかない場合の注意点

PCカードによるCD-ROMドライブを使用している場合、インストール中にCD-ROMドライブが使用できません。Windows 98オペレーションシステムがCD-ROMのときは、あらかじめWindows 98 CD-ROMにある“win98”ディレクトリのすべての内容をハードディスクにコピーしておいてください。(インストールモデルなどハードディスクにすべてのオペレーションシステムがインストール済みの場合は不要です)

※OSがWindows 98 SECOND EDITIONの場合は、CD-ROMもWindows 98 SECOND EDITIONをご使用ください。

使用時の注意事項

●パワーマネージメント機能について

パワーマネージメント機能を有効にしていると、PCカードスロットへの電源供給も停止されため、本製品を使用することができません。必ずパワーマネージメント機能は無効(OFF)にしてください。パワーマネージメント機能の変更方法はコンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

●活線挿抜について

本製品は「活線挿抜」に対応しています。Windows 98などカードスロット用のドライバが「活線挿抜」に対応したコンピュータでは電源をONにしたままPCカードを抜き差しできます。ただし、取りはずすときに必要な操作があります。13ページ「取りはずしの方法」をお読みになり、正しい手順で取りはずしてください。なお、Windows NTは「活線挿抜」に対応していません。

本製品をノートタイプのコンピュータに本製品を取り付ける方法とネットワークへの接続方法を説明しています。イーサネットカードの挿入方法やイジェクト方法は、本体の機種によって異なりますので、お手持ちのコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルの該当ページを説明部分も参考にしてください。

取り付けの方法



必ずコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルも併せて読みながら、取り付けてください。

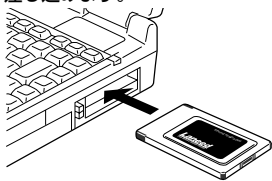


本製品の取り付けを始める前に、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

コンピュータ本体の電源がOFFになっていることを確認します。

本製品はWindows 98の「活線挿抜」に対応しています。Windows 98でコンピュータを使われる場合は、コンピュータの電源をONIにした状態で本製品を差し込むことができます。

- 1** コンピュータのPCカードスロットに、本製品の68ピン側のコネクタを差し込みます。

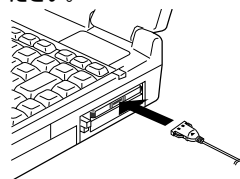


・うら・おもとと向きを間違わないように注意してください。



カードを差し込むとき、向きを間違えると本製品のコネクタやコンピュータ側のコネクタを破損する恐れがあります。無理に差し込まないように注意してください。

- 2** 本製品とメディアカブラの15ピンコネクタどうしを接続します。メディアカブラは15ピンコネクタに▲がある面を上にして接続してください。



・ツメがロックされ本製品とメディアカブラが固定されます。

- 3** メディアカブラのRJ45モジュージャックにRJ45モジュラーケーブルのプラグを差し込みます。

・プラグをカチッと音がするまで、しっかりとジャックに差し込んでください。

取りはずしの方法

コンピュータのPCカードから本製品をイジェクトする方法は、コンピュータ本体によって異なりますので、コンピュータ本体のマニュアルの「PCカードスロット」に関するページを参照してください。なお、Windows 98の活線挿抜により、コンピュータの電源を入れたまま、本製品を取りはずすときはPCMCIAソケットから切り離すための操作を行う必要があります。



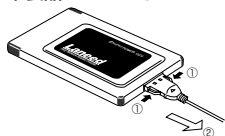
必ずコンピュータ本体やカードスロットのマニュアルを参照して取りはずしてください。



本製品の取りはずすときは、必ず金属に触れて身体の静電気を取り除いてください。

コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし

- 1 メディアカブラからRJ45モジュラーケーブルのプラグを抜きます。
- 2 コンピュータ本体のマニュアルの説明に従って、PCカードスロットから本製品を取りはずしてください。
- 3 本製品からメディアカブラをはずします。



・カブラ側のコネクタのツメを押しなが
ら抜きます。

コンピュータ本体の電源が入った状態での取りはずし (Windows 98の活線挿抜)

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[PCカード
(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。
・〈PCカード(PCMCIA)のプロパティ〉画面が表示されます。
- 2 "Laneed LD-CDS Ethernet PC Card"を選択し、**終了(S)** をク
リックします。



・取りはずし可能のメッセー
ジが表示されます。

- 3 **OK** をクリックします。



- 4 本製品をPCカードスロットから取りはずします。
・このあとは、「コンピュータ本体の電源が切れた状態での取りはずし」
と同じ手順で取りはずしてください。

本製品はWindows 98のプラグ&プレイ機能に対応しています。本製品を取り付けて、Windows 98を起動すると自動的にセットアップが開始されます。

コンピュータ本体などの電源を入れて、Windows 98を起動します。

1 PCカードスロットに本製品を差し込みます。

- ・本製品の差し込み方法は、12ページ「取り付けの方法」をお読みください。

2 しばらくすると、新しいハードウェアを検出したことを知らせるメッセージが表示されます。

- ・そのまま、対応する新しいドライバを自動検出します。

3 必要なドライバが表示されます。

次へ >

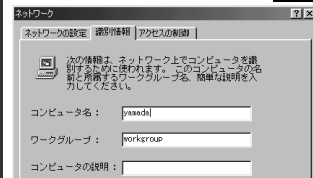


- ・検索方法を選択する画面が表示されます。

MEMO コンピュータ名、ワークグループ名の入力を促されたとき

①[コンピュータ名]の入力を促すメッセージが表示されますので、
OK をクリックします。

②【識別情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグループ名]を入力してください。入力が終われば、OK をクリックします。



コンピュータ名

インストール中のコンピュータに与える名称を設定します。一般的には、個人単位で使うコンピュータならユーザーの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署名などを入力します。

ワークグループ

インストール中のコンピュータが接続されるネットワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上のコンピュータのワークグループ名はすべて同じになります。

4 [使用中のデバイスに最適なドライバを探索する]を選択し、をクリックします。

次へ >



- ・ドライバの場所を選択する画面が表示されます。

5 フロッピーディスクドライブに、本製品に付属のフロッピーディスクを入れます。

- 6** 「フロッピーディスクドライブ」をチェックし、**次へ>**をクリックします。



・ドライバを検索する画面が表示されます。

- 7** **次へ>**をクリックします。

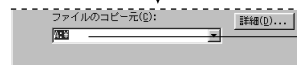


- 8-1** お使いの環境によっては、以下のような画面が表示されることがあります。



- ・すでにディスクを入れていますので**OK**をクリックします。
- ・〈ファイルのコピー〉画面が表示されます。

- 8-2** [ファイルのコピー元]を、フロッピーディスクドライブのドライブ名に変更します。



フロッピーディスクドライブのドライブ名に変更します。

- ・通常、フロッピーディスクドライブはPC/ATの場合はAドライブです。NEC PC-9800の場合は、ご使用の環境により変化します。**詳細(D)...**をクリックするとドライブの一覧から選択できます。

- 8-3** ドライブ名を変更したら**OK**をクリックします。

- ・ドライバのインストールが始まります。

MEMO

すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。この場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようにしてください。

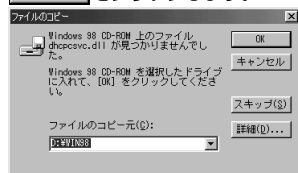
- 9-1** お使いの環境によっては、Windows 98のCD-ROMを挿入するようにメッセージが表示されます。



※ご使用の環境によってはWindows 98 SECOND EDITIONの場合もあります。

- ・この場合は、Windows 98(またはWindows 98 SECOND EDITION)のCD-ROMディスクをCD-ROMドライブに挿入し、**OK**をクリックします。
- ・〈ファイルのコピー〉画面が表示されます。

- 9-2** 表示されているドライブ名とディレクトリ名を確認し、正しければ **OK** をクリックします。



・[ファイルのコピー元]がCD-ROMを入れたドライブと異なる場合は変更します。

MEMO

PC/AT互換機(DOS/V)の場合は、ドライブ名のあとに"WIN98"ディレクトリを指定してください。NEC PC-9801/9821の場合は、ドライブ名のあとに"WIN98N"ディレクトリを指定してください。

(例)CD-ROMドライブがDドライブの場合(小文字でも可)

d:¥WIN98

MEMO

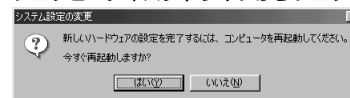
すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合、そのファイルを上書きするか確認のメッセージが表示されます。この場合は、日付の新しいファイルをそのまま使用するようにしてください。

- 10** ドライバのコピーが終了すると、インストール完了のメッセージが表示されます。



・ **完了** をクリックします。

- 11** 再起動を促すメッセージが表示されます。フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出します。



・ **はい** をクリックします。

- 12** 再起動すると、ネットワークへのログイン画面が表示されます。



・ [ユーザー名]は必ず入力します。
・ 必要であれば、[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これで、Windows 98への本製品の導入は完了です。このあと、お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。

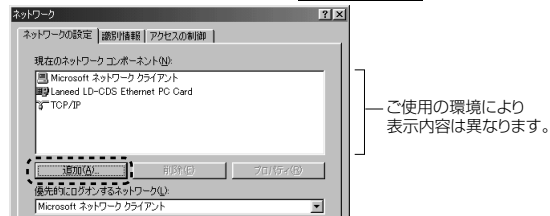
次ページからWindows 98のピア・ツー・ピアでの設定例を説明しています。参考にしてください。

ここでは、Windows 98のネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア環境の設定例を説明します。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある「ネットワーク」をダブルクリックします。

・〈ネットワーク〉画面が表示されます。

2 [ネットワークの設定] タブにある「追加(A)...」をクリックします。



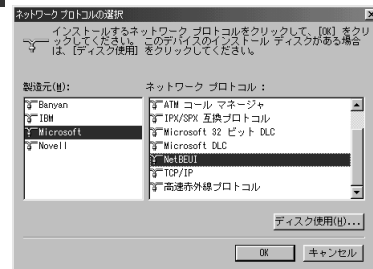
・〈ネットワーク構成ファイルの追加〉画面が表示されます。

3 [プロトコル]を選択します。



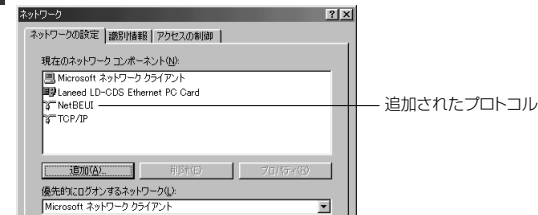
・[プロトコル]を選択し、「追加(A)...」をクリックします。
・〈ネットワークプロトコルの選択〉画面が表示されます。

4 NetBEUIを選択します。



・[製造元]で"Microsoft"をクリックします。プロトコルが表示されます。
・"NetBEUI"を選択します。
・続いて「OK」をクリックします。

5 プロトコルが追加されました。確認してください。



・[現在のネットワークコンポーネント(構成)]に"NetBEUI"が追加されます。

6 手順 2 と同様に、〈ネットワーク〉画面で「追加(A)...」をクリックし、サービスを選択します。



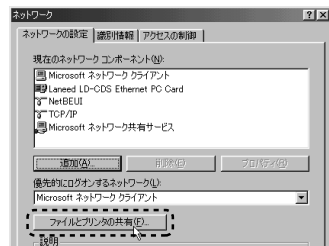
・[サービス]を選択し、「追加(A)...」をクリックします。
・〈ネットワークサービスの選択〉画面が表示されます。

7 サービスの内容を選択します。

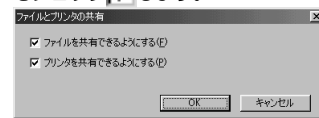
- ・ "Microsoftネットワーク共有サービス"を選択します。
- ・ 続いて **OK** をクリックします。

8 サービスが追加されました。確認してください。

- ・ [現在のネットワーク構成]に"Microsoftネットワーク共有サービス"が追加されています。
- ・ [優先的にログオンするネットワーク]が「Microsoftネットワーククライアント」になっていることを確認します。異なる場合は変更してください。

9 次に[ファイルとプリンタの共有]をクリックします。

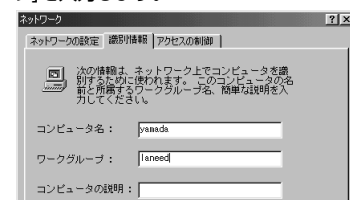
- ・ <ファイルとプリンタの共有>画面が表示されます。

10 "ファイルを共有..." "プリンタを共有..."のチェックボックスを、両方ともチェックします。

- ・ **OK** をクリックします。

11 [識別情報] タブをクリックします。

- ・ <識別情報>画面が表示されます。

12 内容を確認し、変更が必要な場合は[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力します。

- ・ 項目の意味については、17ページを参照してください。
- ・ **OK** をクリックします。

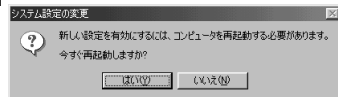
ディスク挿入を促すメッセージが表示されたときは、ディスクを挿入します。

※ご使用の環境によってはWindows 98 SECOND EDITIONの場合もあります。

- ・ "Windows 98(またはWindows 98 SECOND EDITION) CD-ROM"を挿入します。 **OK** をクリックします。

MEMO

ディスクを挿入したドライブを指定する画面が表示されたときは、20ページの**32**を参考に指定します。Windows98では"WIN98"ディレクトリを指定してください。(NEC PC-9801/9821では"WIN98N"ディレクトリを指定)

13 再起動するかメッセージが表示されます。

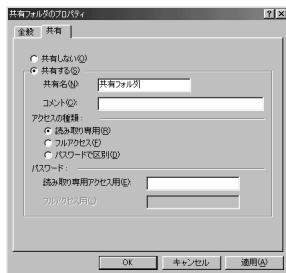
・ **はい(Y)** をクリックします。

再起動すると、今回設定した内容が有効になります。

MEMO

ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の手順で共有設定を行ってください。

- ①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックで選択し、メニューを表示します。
- ②メニューから**[共有]**を選択し、必要な事項を設定します。

■ファイル共有の画面例

すでにWindows NT 4.0がインストールされた状態で、本製品をセットアップする方法を説明しています。お使いになるコンピュータのシステムにネットワーク設定が存在するかしないかでセットアップの流れが異なりますので、説明と表示される画面に注意しながらセットアップしてください。

注意 Windows NT 4.0と同時にセットアップするとき

Windows NT 4.0はインストール中にネットワークアダプタの設定が可能です。Windows NT 4.0オペレーションシステムのマニュアルを参照しながら、このマニュアルの次ページからの手順**4A**～**8**を参考にインストールしてください。ドライバの選択では、"Laneed LD-CDS Ethernet PC Card"を選択してください。ネットワーク設定に必要なプロトコル、サービスなどはネットワーク管理者の指示に従ってください。

コンピュータ本体の電源を入れる前に、PCカードスロットに本製品を取り付けておきます。

1 コンピュータ本体の電源を入れて、Windows NT 4.0を起動します。

"Administrator"でログオンします。
・ Windows NT 4.0が起動します。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し、〈コントロールパネル〉ウィンドウで、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

3 既存の環境によって画面AまたはBが表示されます。



画面Aのとき

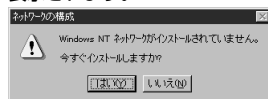
⇒このあとの手順 **4A** を読んでから、次ページの手順 **5** へ進んでください。



画面Bのとき

⇒このあとの **4B** を読んでから、30ページの手順 **7** へ進んでください。

4A そのシステムにはじめてネットワークを導入するときは、以下の画面が表示されます。



- ・  をクリックします。次ページの手順 **5** へ進みます。

4B 【アダプタ】タブを選択し、**追加(A)...**をクリックします。



- ・〈ネットワークアダプタの選択〉画面が表示されます。
- ・30ページの手順 **7** へ進んでください。

5 [ネットワークに接続]をチェックし、**次へ(N) >**をクリックします。

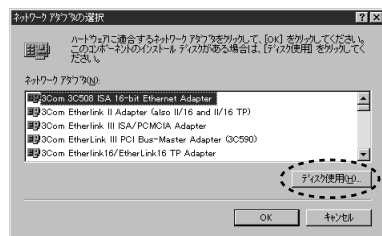


- ・アダプタの選択画面が表示されます。

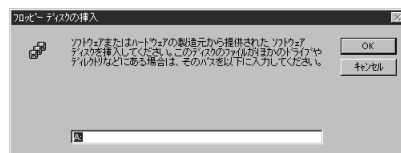
6 一覧から選択(S)... をクリックします。



- ・〈ネットワークアダプタの選択〉画面が表示されます。

7 ディスク使用(H)をクリックします。

・〈フロッピーディスクの挿入〉画面が表示されます。

8 フロッピーディスクドライブに本製品に付属のドライバディスクを挿入します。**9** フロッピーディスクドライブのドライブ名を確認し、**OK**をクリックします。

・表示されているドライブ名がフロッピーディスクドライブと異なる場合は変更します。
 ・〈OEMオプションの選択〉画面が表示されます。

10 "Laneed LD-CDS Ethernet PC Card"を選択し、**OK**をクリックします。

・はじめにネットワークを導入しているときはアダプタの選択画面に戻ります。

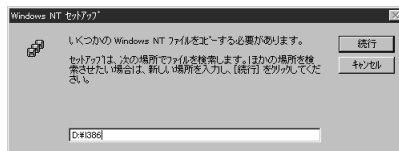
すでに一度ネットワークが設定されているとI/O Portなどを設定する詳細設定の画面が表示されます。その場合は、35ページ「ネットワークが設定されているときの手順」へ進んでください。

11 [ネットワークアダプタ]に、"Laneed LD-CDS Ethernet PC Card"が表示され、☒チェックされているれば、**次へ(N) >**をクリックします。

・ネットワークプロトコルを選択する画面が表示されます。

12 ネットワークで使用するプロトコルとサービスを選択します。

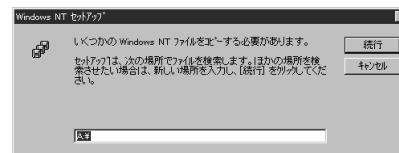
- ・はじめに、プロトコルを選択する画面が表示されますので、プロトコルを選択し、**次へ>**をクリックします。
- ・次に、サービスを選択する画面が表示されますので、サービスを選択し、**次へ>**をクリックします。
- ・プロトコルおよびサービスのインストールを確認する画面が表示されます。**次へ>**をクリックします。

13 Windows NT 4.0のオペレーションディスクのドライブ名とディレクトリ名を指定します。

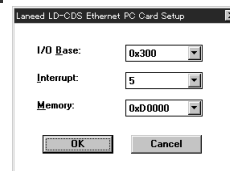
- ・PC/AT互換機およびNEC PC98-NXはWindows NT 4.0のオペレーションディスクで「I386」を指定します。
- ・NEC PC-9800(PC-9821)の場合は、「PC98」ディレクトリを指定します。

14 指定が終われば、続行**をクリックします。**

- ・もう一度、インストールファイルのドライブ名とディレクトリ名を指定する画面が表示されます。

15 今度は、フロッピーディスクドライブを指定し、続行**をクリックします。**

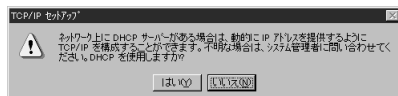
- ・詳細設定の画面が表示されます。

16 必要に応じて設定内容を変更します。

I/O Base	I/Oポートアドレスを設定します。変更する場合は、他のデバイス等が使用していないアドレスを割り当ててください。デフォルトは「0x300」です。
Interrupt	IRQを設定します。変更する場合は、他のデバイス等が使用していないIRQを割り当ててください。デフォルト「5」です。
Memory	PCカードを割り当てるメモリアドレスを指定します。変更する場合は、他のデバイス等が使用していないアドレスを割り当ててください。デフォルトは「0xD0000」です。

17 設定が終われば、OK**をクリックします。**

17 プロトコルでTCP/IPを選択した場合は、DHCPを使用するか、選択の画面が表示されます。



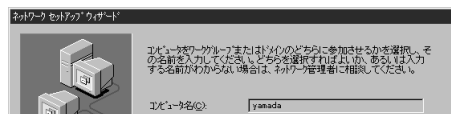
- ・ご利用になるネットワーク環境に合わせて、**はい (Y)** または **いいえ (N)** をクリックします。
- ・バインド等を変更するための画面が表示されます。

18 必要に応じて内容を変更します。よろしければ **次へ (N) >** をクリックします。

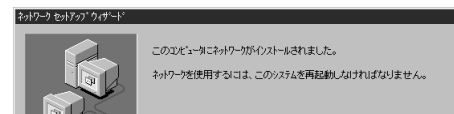


19 ネットワークの導入が完了したことを知らせるメッセージが表示されます。 **次へ >** をクリックします。

20 ワークグループ名などを設定する画面が表示されますので、必要に応じて内容を入力し、 **次へ (N) >** をクリックします。

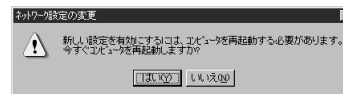


21 インストール完了のメッセージが表示されますので、 **完了** をクリックします。



- ・再起動のメッセージが表示されます。

22 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、 **はい (Y)** をクリックします。



- ・Windows NT 4.0が再起動します。

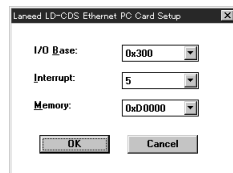
これで、本製品のWindows NT 4.0への導入は完了です。

ネットワークが設定されているときの手順

すでにネットワークが設定されている環境へ本製品のドライバをインストールしたとき31ページ手順 **10** の続きを説明します。

31ページの手順 **10** の〈OEMオプションの選択〉画面で、"Laneed LD-CDS Ethernet PC Card"を選択し、 **OK** をクリックすると、ドライバの詳細設定画面が表示されます。

- 11** 必要に応じて設定内容を変更します。設定が終われば、**OK** をクリックします。



※項目の内容については、33ページの手順
16 を参照してください。

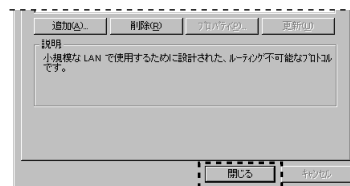
・〈ネットワーク〉画面に戻ります。

- 12** ネットワークアダプタにLanecd LD-CDS Ethernet PC Cardと表示されていれば、ドライバのインストールは完了です。



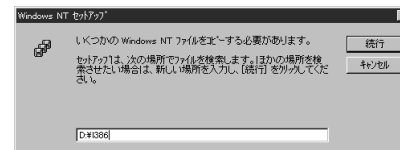
続いて、必要なネットワーク環境の設定をおこないます。【サービス】、【プロトコル】タブを選択し、実際の構成に合わせて設定してください。

- 13** すべての設定が終われば、〈ネットワーク〉画面の**閉じる**をクリックします。

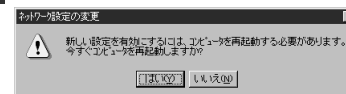


・ファイルのコピーが始まります。

Windows NT 4.0のオペレーションシステムのCD-ROMを要求された場合、PC/AT互換機およびNEC PC98-NXのときは、Windows NT 4.0の「I386」ディレクトリを指定し、**続行**をクリックします。NEC PC-9800(PC-9821)のときは「PC98」ディレクトリを指定します。



- 14** ファイルのコピーのあと、再起動のメッセージが表示されます。



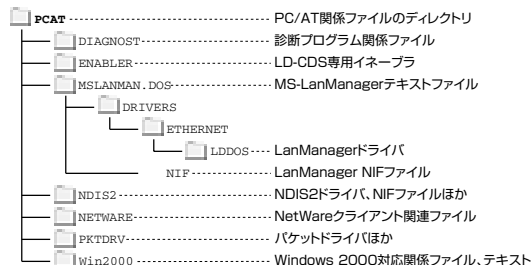
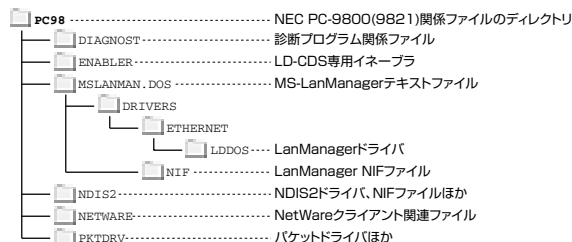
・フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、**はい**をクリックします。
・Windows NT 4.0が再起動し、設定した内容が有効になります。

これで、Windows NT 4.0へのセットアップは終わりです。

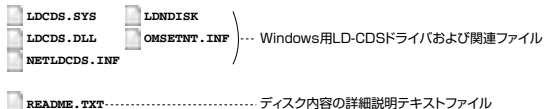
本製品には、Windows 98およびWindows NT 4.0以外にも各種ネットワークOSに対応するドライバが付属します。各ドライバのインストール方法は、付属のディスクのあるテキストファイルに説明があります。ディスクの内容の詳細については、ディスクのルートディレクトリにあるREADME.TXTをお読みください。

■付属ディスクの内容

(出荷時期により多少内容が異なることがあります)



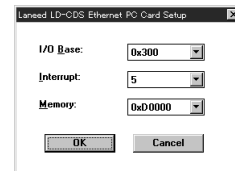
●ルートディレクトリにあるファイル



Windows NT 4.0におけるアダプタのプロパティについて説明します。デフォルトは、一般的に最適な状態に設定されていますので、特に変更の必要はありません。なお、Windows98では、プロパティで設定する内容はありません。

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

②〈ネットワーク〉画面の【アダプタ】タブで“Laneed LD-CDS Ethernet PC Card”を選択し、[プロパティ]をクリックします。〈詳細設定〉の画面が表示されます。



I/O Base	I/Oポートアドレスを設定します。変更する場合は、他のデバイス等が使用していないアドレスを割り当ててください。デフォルトは「0x300」です。
Interrupt	IRQを設定します。変更する場合は、他のデバイス等が使用していないIRQを割り当ててください。デフォルト「5」です。
Memory	PCカードを割り当てるメモリアドレスを指定します。変更する場合は、他のデバイス等が使用していないアドレスを割り当ててください。デフォルトは「0xD0000」です。

MEMO

アドレス等の空き状況は、[スタート]→[プログラム]→[管理ツール(共通)]→[WindowsNT診断プログラム]で確認することができます。

共通のトラブル

● 本製品が正常に動作しない。

- ① ドライバを正しくインストールしましたか。各環境でのトラブル項目もお読みください。
- ② パワーマネジメント機能を有効にしていますか。有効にしているとPCカードスロットへの電源供給が止まります。
- ③ 本製品をPCカードスロットの奥までしっかりと差し込んでいますか。コンピュータ本体のマニュアルを読んで、本製品をPCカードスロットに確実に差し込んでください。

● 本製品は正常に動作しているが、ネットワークが見えない。

本製品のケーブルに接続されたケーブルはネットワークに接続されていますか。ケーブルとケーブル、ケーブルと本製品のコネクタがしっかりと接続されていますか。ケーブルのLED表示を見てLinkが確立されているかを確認してください。

Windows 98環境でのトラブル

● 本製品を差し込んでも、新しいハードウェアが検出されない。

- ① PCMCIAコントローラ(32bitカードドライバ)が動作していない可能性があります。特に16bitカードドライバが動作しているWindows 3.1からWindows 98/95に移行した場合に多い現象です。PCMCIAコントローラが正常に動作しているか確認してください。また、CONFIG.SYSにて16bitカードソフトの記述の文頭にremを入れることで新しいハードウェアが検出されるようになります。
- ② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブでチェックすると[その他のデバイス]に「Laneed-LD-CDS」として登録されていることが考えられます。確認してください。もし、登録されていれば、【デバイスマネージャ】から「Laneed-LD-CDS」を削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの説明を読んでセットアップしてください。

● PCカードスロットがひとつしかないため、CD-ROMドライブが使えない。

セットアップを始める前に、Windows 98システムソフトウェアのCD-ROMにある「win98」ディレクトリの内容をすべてハードディスクにコピーしておきます。セットアップ中にWindows 98CD-ROMを要求されたら、CD-ROMの代わりにハードディスク内の「win98」ディレクトリを指定してください。

● [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブでチェックすると[その他のデバイス]に「Laneed-LD-CDS」として登録されている。または、[コントロールパネル]の[PCカード]においても同様に表示される。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】より上記のデバイスを一度削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの説明を読んでセットアップしてください。

● 起動画面にて「Laneed LD-CDS? ...00xが正常に動作していない。」というようなエラーメッセージが表示される。

- ① IRQおよびI/Oポートアドレスが競合している可能性があります。[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブで[PCMCIAソケット]にある「Laneed LD-CDS...」のプロパティを開き、リソースを手動で設定し直してください。
- ② [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブでチェックすると[その他のデバイス]に「Laneed-LD-CDS」として登録されていることが考えられます。確認してください。もし、登録されていれば、【デバイスマネージャ】から「Laneed-LD-CDS」を削除し、再起動してみてください。再起動後、新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの説明を読んでセットアップしてください。

- ドライバのインストール時に、ファイルのコピーが正しく行えなかった。一度、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]の【デバイスマネージャ】タブで[PCMCIAソケット]にある"Laneed LD-CDS..."ドライバを削除して、再起動後に新しいハードウェアが検出されたというメッセージが表示されれば、このマニュアルの説明を読んでセットアップをやり直してください。

- ドライバは正常に動作しているが、ネットワークが見えない、使えない。

ケーブルが正しく接続されていないなどハードウェア的なトラブルはありませんか。また、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]でプロトコル、サービスなどが正しく設定されているかチェックしてください。ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境によって異なります。設定すべき内容がわからない場合は、ご使用になるネットワークのシステム管理者にお尋ねください。

WindowsNT環境でのトラブル

- システム起動時にエラーが発生し、「イベントビューアー」で確認するとデバイスの競合が確認された。
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[ネットワーク]で、本製品のプロパティを開き、他のデバイスと競合しないようにリソースの設定を変更してください。

- PCMCIAサービスが開始されていない。

ケーブルが正しく接続されていないなどハードウェア的なトラブルはありませんか。また、[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]でプロトコル、サービスなどが正しく設定されているかチェックしてください。ネットワークの設定は、ご使用になるネットワーク環境によって異なります。設定すべき内容がわからない場合は、ご使用になるネットワークのシステム管理者にお尋ねください。

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。また、FAX情報によるサービス、ネット上によるオンラインサービスも提供しています。なお、サポートセンターでサービスを受けるために、あらかじめ本製品のユーザ登録していただきますようお願いいたします。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3444-5571 FAX : 03-3444-8205

受付時間：月～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00

(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)

※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット

<http://www.elecom-laneed.com>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000
名古屋：052-453-6000
札幌：011-210-6000
広島：082-223-6000

大阪：06-6455-6000
福岡：092-482-6000
仙台：022-268-6000

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えて、下記までご連絡ください。

保証期間内

まずは、ラニード・サポートセンターまで電話またはFAXでご連絡ください。

保証期間外

東京都八王子市子安町4-19 セキエレクトロニクス株式会社内
エレコム修理センター
電話番号 03-5950-4410
電話受付 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00
(ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日を除く)

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの40ページ「付録1 こんなときは」をお読みになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ:
使用しているOS:
使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番):
ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成:
ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等) :

●具体的な現象について

具体的な現象:
事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):

商品名	PCMCIA TYPE II 準拠 10Mbps イーサネットPCカード
製品型番	LD-CDS
メディアタイプ	10BASE-T
伝送速度	10Mbps
ケーブル規格	IEEE802.3標準/Ethernet Ver2.0
対応バス	PCMCIA TYPE II
割り込みレベル	自動設定または手動設定 (3, 4, 5, 9, 10, 11, 12, 15)
I/Oポート アドレス	自動設定または手動設定 (0x200, 0x220, 0x300, 0x320, 0x340, 0x350, 0x3C0, 0x3E0)
LED	付属のメディアカブラによる表示 Link (緑:リンクの確立およびデータ受信) Act (緑:電源供給およびデータ送信)
適合規格	FCC Part15 Class B, CEマーキング, VCCI第二種情報処理装置基準
消費電力	5V/150mA
動作温度	動作時:0～55℃
動作湿度	10～90%(結露なきこと)
対応機種	PC/AT互換機(DOS/V)、NEC PC98-NX、 NEC PC-9800シリーズでPCカードスロット(PCMCIA TYPE II)を持つ機種
対応OS	Windows 2000(対応予定)、Windows 98、 Windows NT 4.0、Windows NT 3.51
付属品	メディアカブラ、ドライバディスク(1枚)、 ユーザズマニュアル、ユーザ登録カード、保証書

PCMCIA TYPE II 準拠 イーサネットPCカード

LD-CDS

ユーザズマニュアル

発行 エレコム株式会社

2000年2月20日 第2版